

發言察部調停 因島三庄争議

大阪鐵工所因島三庄兩工場の争議は勃發以來既に二週間に及ぶが最取進に至り両者の間に交渉協定を見出したもの、如く伊藤藤廣島縣警察部長は四日午後因島に向け調停の勞を執り多く出張し持久戦に入らんとした本争議を漸く解決の曙光を認むることになつた。

六月七日 大阪毎日新聞記事

調停の努力を惜まぬ因島の争議を視察した伊藤發言察部長云々

伊藤藤廣島縣警察部長は目下噂々として居る發言察官の異動並に因島労働争議につき六日尾道より歸廣して語る

發言察官異動の噂があるも僕は今た様なことは考へて居ない因島の労働争議は多少悪化されたやうに傳はつて居るけれども僕が今回尾道まで出向いて聞いたところによると左程心配した程でもないと思ふが唯秩序整然と行はるること

現状維持は縣や因島町が迷惑でありまた工場も職工もその他関係者總てが不利益下あるから早く解決されることを望んで居る僕も希望があれば適當な時期に調停の勞を惜まぬ

因に因の島には目下發言察部より横濱發言^教課長島淵高等課長出張諸般の取締を指揮して居る。

因島の争議

再び燃りを戻した備後因島争議は双方の意地張り強、解決の見當がつかぬやうになつた。争議團では六日更に三庄所常盤屋下労働演説會を開き結果を堅くし重衣切職工を嚴重に監視して居る尚五日朝入場職工に暴行を加へ下横東者を出した一方會社側では殘留の修繕艇をよしく櫻島工場その他に送つてゐるが四日閉門して以來就業を欲するものには仕事を與へる方針を取つてゐる。

六月七日 大阪朝日新聞記事